

行政だからできる
ママの心と体の健康支援

産婦健康診査



産後のホルモンバランスの崩れや慣れない育児から体調を崩しやすい時期に、医師・助産師・保健師等の専門職がサポートします。

内容 5,000円を上限とした受診票を2枚交付

こんにちは赤ちゃん訪問



お母さんと赤ちゃんを支援するため、生後4カ月までの赤ちゃんがいるすべての家庭にこんにちは赤ちゃん訪問を行っています。

産後ケア事業



赤ちゃんとの生活に慣れるために、医療機関や在宅の安心できる環境で助産師等が母親の心身ケアや乳児ケア、育児サポートなどきめ細かい支援を実施しています。

こんにちは赤ちゃん訪問には、私たち保健師などが伺います！不安に思うことは何でも相談してくださいね。



健康づくり課 細谷保健師(左) 新井保健師(右)

産婦人科医院で開催する
子育てサークル・院内教室

秋葉産婦人科病院

ぽっかぽかクラブ



子育て中の母親に心の栄養を。みんなで集っておしゃべりして、ストレス発散するだけでなく赤ちゃんどうやって楽しく遊ぶか、一緒に学びましょう。

船橋レディスクリニック

ベビーマッサージ教室



優しくマッサージすることで母子の心を穏やかにするとともに、楽しくおしゃべりしながら助産師に気軽に相談もできます。

行政だからできる
子育て家庭への支援

子どもの医療費無料化



市内在住の0歳から中学3年生は医療費が無料になります。

※医療機関では自己負担額を支払いますが、指定した口座に後日入金されます。



誰もが支えあえる子育てしやすいまちへ

子育てはまち育て
子どもを連れて買い物に出るとき、ぐずったり泣き出したらどうしようという声をよく耳にします。周囲の人はどう思うか、嫌な顔をされたいだろうかと考えてしまい、心配で家の外へ出ることをためらうことがあります。

バスや電車、レストランでも同じです。皆さんは、ママが必死に子どもをあやしている状況を見掛けたことはありませんか。その時どんな気持ちだったか覚えていますか。

子育てに悩む親や子どもたちを温かく見守り、地域で支えることができるまちこそが、子どもだけでなく全ての人に優しいまちと言えるでしょう。

誰にでも優しいまちへ
生まれてきた子どもたちが「古河に生まれてよかった」と感じ、そして子育てしている親たちが「古河で子育てできてよかった」と実感できるように、市では多くの事業を実施しています。

そして、妊娠中・出産・産後などに安心して子育てができ、必要な時期に必要な支援が行えるよう、子育て環境の充実に取り組みしていきます。

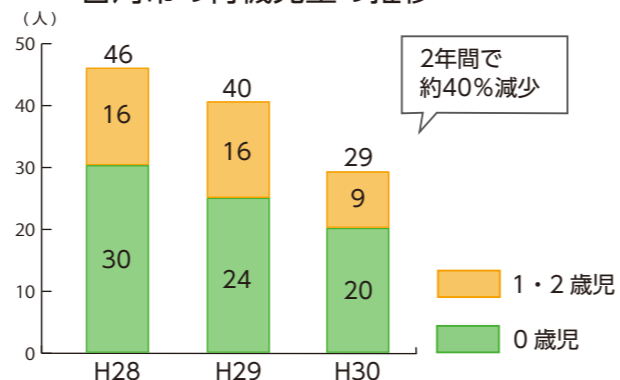
地域の人が支えあい温かく見守ることのできる「誰にでも優しいまち」を目指してこれからも共に歩みを進めていきましょう。

現在の取り組み

市では、民間の教育・保育施設も含めた保育の受け皿の確保に取り組んでいます。平成28年度から平成30年度までに、民間5施設の新規認可・建設など待機児童ゼロに向けた事業を実施しています。

一方、公立保育所では少子化の影響等を注視しながら、集約化や長寿命化を図り、市全体の保育の量の調整を行っています。

古河市の待機児童の推移



※各年度10月1日現在の保育所等利用待機児童数調査(厚生労働省)

そもそも、待機児童って何ですか？



保育所等の教育・保育施設に入所申請をしているにもかかわらず入所できず、入所待ちしている(待機)状態の児童のことです。特定の施設に入所を希望し待機している児童は含めません。



待機児童ゼロを目指して
～官民連携による保育環境の充実～

全国的に問題になっている待機児童。仕事復帰を考える母親を悩ませているこの問題を解消するため、市は取り組みを進めています。